カリキュラムマップ（2024年度1学年 「新」適用）

学年		1																									
コンピテンス・コンピテンシー	科目名	医科学入門	医用物理学	医用化学	生物化学	医用統計学	生命科学Ⅰ	基礎科学実験（生物）	基礎科学実験（物理）	基礎科学実験（化学）	発表の技法	リベラルアーツ選択Ⅰ	医療人類学（基礎編）	医の原則Ⅰ	医学概論	医学の歴史	Medical Communication Ⅰ	体育	人体構造入門	消化器・呼吸器	皮膚・運動器	泌尿器・生殖器	循環器・内分泌	脳神経・感覚器	組織学実習	人体解剖実習	臨床実習Ⅰ
Ⅰ．プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1. 個人の尊厳を尊重し、相手の感情や社会背景に共感を示すことができる。	D	E	E	E			D	E			C	D	C	D	A	E									C	C
	2. 医師に必要な社会規範を守ることができる。		E	E	E			E	E			C		C	D	B	E		E	E	E	E	E	E	E	C	C
	3. 医学倫理について理解し、それに基づいて行動できる。	D		E	D		E	E	E			E		C	D	A	E		E	E	E	E	E	E	E	C	C
	4. 共同学習や生涯学習の精神を保ち、自身の向上に結びつけることができる。	D	D	E	C		D	D	E	C		C	E	C	D	A	E		E	E	E	E	E	E	E	C	C
	5. 心身ともに適切に管理できる。		E	E	E		D	C	E			C			E	B	E	C	E	E	E	E	E	E	E	C	C
Ⅱ．コミュニケーション能力、多職種連携能力	1. 患者・家族の言葉に共感し、良好な意思疎通を図ることができる。			E								E	D	C	D	C	A									C	C
	2. 多職種及び同職種連携の重要性を理解し、実践できる。		E	E								E	D	C	D	B	A									C	C
	3. 医療スタッフの役割を理解し、円滑な人間関係を築くことができる。			E								E	E	C	D	C	A										C
	4. 礼儀・礼節と協調性を以て、他人と接することができる。	D		E			C	D	D	C		C		C	D	B	A	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	5. 相手の意見を傾聴し、適切な言葉を用いて意思を伝達することができる。	C	E	E			C	D	D			C	E	C	D	A	A	C	E	E	E	E		E	E	C	C
	6. 適切な表現を用いて、相手や場面に合わせた文章を作成することができる。	D		E			C	D		C	E	C	D	C	D	B	A									C	
Ⅲ．情報・科学技術を活かす能力	1. 人体各器官の正常な構造と機能を説明できる。	E		E	C		D	C		E		E			D	B	E		C	C	C	C	C	C	C	C	
	2. 全身に及ぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明できる。		E	E	B		D					E			E	B	E		E	E	E	E	E	E	E	E	
	3. 病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明できる。		D	E	C		E					E			D	D	E				E						
	4. 最新の医学・医療情報を適切に収集し、Evidence-based medicine(EBM)として診療に活用できる。	D	D	E		E	E					E					E										
	5. 人工知能等の新しい技術を導入し医療を実践することができる。			E								E					E										
Ⅳ．総合的に患者・生活者をみる姿勢、患者ケアのための診療技能	1. 患者の主要な病歴聴取を適切に実践できる。											E					E										
	2. 成人及び小児の身体診察を適切に実践できる。											E					E										
	3. 臨床推論に基づく診断過程を実践できる。											E					E										
	4. 患者の治療計画を策定できる。											E					E										
	5. Problem oriented system(POS)の考え方を理解し、Problem oriented medical record(POMR)に則ったカルテ記載が正確にできる。											E					E										
	6. 医療安全の考えを理解し、patient saetyを実践できる。						E					E			E	C	E										
	7. 誕生から発達・成長・加齢・死までの正常と異常及び心理的背景の推移を説明できる。						E	D				E				B	E		E	E	E	E	E	E	E	E	
	8. 心理社会的背景も踏まえ、患者のウェルビーイング実現に向けて努力できる。						E					E	D				E										C
Ⅴ．社会における医療の役割の理解	1. 保健・医療・福祉の現状と課題を理解できる。						E					E	E	C	D	B	E										D
	2. 疾病予防と健康増進に取り組むことができる。						E					C			E	C	E										
	3. 地域医療の現状を把握し、プライマリ・ケアを実践できる。						E					E			E	C	E										
	4. 災害医療の特殊性について理解し、災害発生時には適切に行動できる。						E					E		C	E	C	E										
	5. 地域医療の中でのグローバル化を把握し、非日本語母語話者にも対応できる。						E					E	D		D	C	E										
	6. 保健・医療に関する国際的な課題を理解し説明できる。						E					E	D	C	D	C	E										
	7. 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を説明できる。						E					E	E	C	D	B	E										
Ⅵ．科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力	1. 医学的発見の基礎となる科学的理論や考え方を理解できる。		D	E	B	E	D	C	D	D	E	E		C	D	A	E		E	E	E	E	E	E	E	E	
	2. 医学的な未解決分野の問題点や課題を発見できる。	E	D	E	B	E	C	C	D			E		C	E	A	E		E	E	E	E	E	E	E	E	
	3. 問題解決のための対策や方法論を提示できる。	D	D	E	C	E	C	C	C	D	C	C		C	E	B	E		E	E	E	E		E	E	E	

学年		2																							
コンピテンス・コンピテンシー	科目名	生命科学Ⅱ	医学とEBM・データサイエンス	数理サイエンス講義とプログラミング実習	人の行動と心理	他者への関心と新たな交流	医の原則Ⅱ	Medical English Ⅱ	医学研究への扉	臨床発生学	生体内情報伝達	機能系統合実習	基礎医学による病態理解	代謝	ゲノム医学	生体と微生物1（細菌）	生体と微生物2（ウイルス）	生体と微生物3（寄生虫）	免疫と生体防御	病因と病態	生体と放射線	生体と薬物	薬物治療	臨床実習Ⅱ	臨床入門
Ⅰ．プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1. 個人の尊厳を尊重し、相手の感情や社会背景に共感を示すことができる。		C		D	D	D	E	E														E	C	D
	2. 医師に必要な社会規範を守ることができる。		C		D		D	E															E	C	D
	3. 医学倫理について理解し、それに基づいて行動できる。		C		D		D	E	E											E			E	D	D
	4. 共同学習や生涯学習の精神を保ち、自身の向上に結びつけることができる。	C	C		E	D		E						D									E	C	
	5. 心身ともに適切に管理できる。		C		E			E	C														E	C	
Ⅱ．コミュニケーション能力、多職種連携能力	1. 患者・家族の言葉に共感し、良好な意思疎通を図ることができる。				C			A																D	D
	2. 多職種及び同職種連携の重要性を理解し、実践できる。				C	C	D	A												E				C	D
	3. 医療スタッフの役割を理解し、円滑な人間関係を築くことができる。				C	C	D	A												E				C	D
	4. 礼儀・礼節と協調性を以て、他人と接することができる。		C		D	D	D	A	C					D								E	E	A	D
	5. 相手の意見を傾聴し、適切な言葉を用いて意思を伝達することができる。		C		D	D	D	A	C					D								E	E	C	D
	6. 適切な表現を用いて、相手や場面に合わせた文章を作成することができる。		C		E		D	A	C					D								E	E	D	D
Ⅲ．情報・科学技術を活かす能力	1. 人体各器官の正常な構造と機能を説明できる。	C	C		E			E	E	C	C	C	C	C	D	C	C	C	D	D	E	C	C		D
	2. 全身に及ぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明できる。	C	C		E			E	E	C	C	C	D	C	D	C	C	C	D	D	D	C	C		
	3. 病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明できる。	C	C		E			E	E				D	D	D	C	C	C	D	D		D	C		
	4. 最新の医学・医療情報を適切に収集し、Evidence-based medicine(EBM)として診療に活用できる。		C		E			E	E				D	D		C	C	C		E		D	E		D
	5. 人工知能等の新しい技術を導入し医療を実践することができる。	C	C		E			E												E					D
Ⅳ．総合的に患者・生活者をみる姿勢、患者ケアのための診療技能	1. 患者の主要な病歴聴取を適切に実践できる。				D			E							D	D	D	D							
	2. 成人及び小児の身体診察を適切に実践できる。				E			E							E										
	3. 臨床推論に基づく診断過程を実践できる。				E			E					D	D		D	D	D		E					
	4. 患者の治療計画を策定できる。				E			E																	
	5. Problem oriented system(POS)の考え方を理解し、Problem oriented medical record(POMR)に則ったカルテ記載が正確にできる。				E			E																	D
	6. 医療安全の考えを理解し、patient saetyを実践できる。				E			E													D				D
	7. 誕生から発達・成長・加齢・死までの正常と異常及び心理的背景の推移を説明できる。	C			D			E																	D
	8. 心理社会的背景も踏まえ、患者のウェルビーイング実現に向けて努力できる。				D	C		E																	D
Ⅴ．社会における医療の役割の理解	1. 保健・医療・福祉の現状と課題を理解できる。		C			D	D	E								D	D	D							D
	2. 疾病予防と健康増進に取り組むことができる。		C			D		E							D	D	D	D			E				D
	3. 地域医療の現状を把握し、プライマリ・ケアを実践できる。					D		E																	D
	4. 災害医療の特殊性について理解し、災害発生時には適切に行動できる。							E																	D
	5. 地域医療の中でのグローバル化を把握し、非日本語母語話者にも対応できる。							E																	D
	6. 保健・医療に関する国際的な課題を理解し説明できる。		C				D	E								D	D	D							D
	7. 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を説明できる。		C				D	E								D	D	D							D
Ⅵ．科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力	1. 医学的発見の基礎となる科学的理論や考え方を理解できる。	C	C	E	E			E	B		C	C	D	C	E	D	D	D	D	E	E				D
	2. 医学的な未解決分野の問題点や課題を発見できる。	C	C		E			E	C		D		D	C	E	D	D	D	D	E	E				D
	3. 問題解決のための対策や方法論を提示できる。	C	C	C	D			E	B		D		D	C	E	D	D	D	D						D

学年		3																	
コンピテンス・コンピテンシー	科目名	Medical English Ⅲ	血液・造血器・リンパ系	皮膚系	循環器系Ⅰ	呼吸器系	消化器系Ⅰ	内分泌・栄養・代謝系	腎・尿路系	神経系	運動器系	循環器系Ⅱ	消化器系Ⅱ	精神系	性腺・生殖器	女性内分泌・妊娠	耳鼻・咽喉・口腔系	データ分析に基づく研究講義	臨床実習Ⅲ
Ⅰ．プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1. 個人の尊厳を尊重し、相手の感情や社会背景に共感を示すことができる。	E	E		C	B				C	C	E	E	D	C	C	D		
	2. 医師に必要な社会規範を守ることができる。	E			C	B				C	C	E	E	D	C	C	D	C	
	3. 医学倫理について理解し、それに基づいて行動できる。	E	E		C	B				C	C	E	E	D	C	C	D	C	
	4. 共同学習や生涯学習の精神を保ち、自身の向上に結びつけることができる。	E	E		C	B			E	C	C	E	E	D	C	C	D	C	C
	5. 心身ともに適切に管理できる。	E			C	B			E	C	C	E	E	D	C	C	D		C
Ⅱ．コミュニケーション能力、多職種連携能力	1. 患者・家族の言葉に共感し、良好な意思疎通を図ることができる。	A			D	C				C	C		E	D	D	D			C
	2. 多職種及び同職種連携の重要性を理解し、実践できる。	A			D	B				C	C		E	D	D	D		C	C
	3. 医療スタッフの役割を理解し、円滑な人間関係を築くことができる。	A	E		E	B				C	C		E	D	D	D		C	C
	4. 礼儀・礼節と協調性を以て、他人と接することができる。	A			D	C				C	C		E	D	D	D		C	C
	5. 相手の意見を傾聴し、適切な言葉を用いて意思を伝達することができる。	A	E		E					C	C		E	D	D	D		C	C
	6. 適切な表現を用いて、相手や場面に合わせた文章を作成することができる。	A			E	B				C	C		E	D	D	D	E	C	D
Ⅲ．情報・科学技術を活かす能力	1. 人体各器官の正常な構造と機能を説明できる。	E	B	D	B	B	D	D	C	C	B	C	D	D	C	B	C		
	2. 全身に及ぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明できる。	E	B	D	B	B	D	D	C	C	B	C	D	D	C	B	C		
	3. 病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明できる。	E	B	D	C	B	D	D	C	C	B	B	D	C	C	B	C	C	
	4. 最新の医学・医療情報を適切に収集し、Evidence-based medicine(EBM)として診療に活用できる。	E	D	E	D	B	E	D	C	C	C	B	D	D	C	B	C	C	E
	5. 人工知能等の新しい技術を導入し医療を実践することができる。	E			E	B	E		C	C	D	E	D	D	C	B	D		
Ⅳ．総合的に患者・生活者をみる姿勢、患者ケアのための診療技能	1. 患者の主要な病歴聴取を適切に実践できる。	E	D		E	B	C	D	D	C	B		D	D	D	C			
	2. 成人及び小児の身体診察を適切に実践できる。	E	D		E	B	C	D	D	C	B		D	D	D	C			
	3. 臨床推論に基づく診断過程を実践できる。	E	D		C	B	D	D	D	C	B	B	D	D	D	C		C	
	4. 患者の治療計画を策定できる。	E	D		C	B	D	D	D	C	C	B	D	D	D	C			
	5. Problem oriented system(POS)の考え方を理解し、Problem oriented medical record(POMR)に則ったカルテ記載が正確にできる。	E	E		D	B	D			C	C		D	D	D	C		C	
	6. 医療安全の考えを理解し、patient saetyを実践できる。	E	E		D	B	E			C	C	E	D	D	D	C			
	7. 誕生から発達・成長・加齢・死までの正常と異常及び心理的背景の推移を説明できる。	E	E		C	C	E	D	E	C	C		D	D	D	C			
	8. 心理社会的背景も踏まえ、患者のウェルビーイング実現に向けて努力できる。	E	E		E	C	E	D		C	C		D	D	D	C			
Ⅴ．社会における医療の役割の理解	1. 保健・医療・福祉の現状と課題を理解できる。	E	E	D	D	B	E			D	C	B	E	D	C	D	D		
	2. 疾病予防と健康増進に取り組むことができる。	E	D	D	C	B	E	D		D	B	E	E	D	C	D	D		
	3. 地域医療の現状を把握し、プライマリ・ケアを実践できる。	E		D	E	B	E			D	C		E	D	C	D	D		
	4. 災害医療の特殊性について理解し、災害発生時には適切に行動できる。	E				C				D	C		E	D	C	D			
	5. 地域医療の中でのグローバル化を把握し、非日本語母語話者にも対応できる。	E			E	C				D	C		E	D	C	D			
	6. 保健・医療に関する国際的な課題を理解し説明できる。	E	E	D	E	C				D	C	E	E	D	C	D			
	7. 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を説明できる。	E	E		D	C				D	C		E	D	C	D			
Ⅵ．科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力	1. 医学的発見の基礎となる科学的理論や考え方を理解できる。	E	E	E	D	B		D	C	C	D	B	D	D	D	D		C	
	2. 医学的な未解決分野の問題点や課題を発見できる。	E	E	E	D	B			C	C	D	B	D	D	D	D		C	
	3. 問題解決のための対策や方法論を提示できる。	E	E	E	D	B			C	C	D	B	D	D	D	D	D	C	

学年		4																					4・5	5		6		
コンピテンス・コンピテンシー	科目名	Medical English Ⅳ	眼・視覚系	感染症	腫瘍	リハビリ	救急医学	小児	免疫・アレルギー疾患	画像診断	周術期管理	外科総論	検査診断・輸血	症候論	臨床病態論	学修継続への基礎的教養	老年医学	臨床実習入門	環境社会医学	予防医学	法医学	地域医療とプライマリ・ケア	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	診療の基本	臨床解剖	臨床実習Ⅵ	総合医学1	総合医学2
Ⅰ．プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1. 個人の尊厳を尊重し、相手の感情や社会背景に共感を示すことができる。	E						C				E	C				A	B	A	D	E	D	A	C	A	A	D	D
	2. 医師に必要な社会規範を守ることができる。	E						C				E	C				B	B	A		B		A	D	A	A	D	D
	3. 医学倫理について理解し、それに基づいて行動できる。	E						C				E	C				B	B	A	D	D		A	D	A	A	D	D
	4. 共同学習や生涯学習の精神を保ち、自身の向上に結びつけることができる。	E						C				E	B	B			A	B	A		E	D	A	D	A	A	D	D
	5. 心身ともに適切に管理できる。	E						B				E	B				A	B	A		E		A	D	A	A	D	D
Ⅱ．コミュニケーション能力、多職種連携能力	1. 患者・家族の言葉に共感し、良好な意思疎通を図ることができる。	A						C				D	C	D			B	B	C			D	A	C		A	D	D
	2. 多職種及び同職種連携の重要性を理解し、実践できる。	A						C		E		D	C	D			B	B	B	D	E	D	A	D		A	D	D
	3. 医療スタッフの役割を理解し、円滑な人間関係を築くことができる。	A						C		E		D	C	D			B	B	B	D		D	A	D	A	A	D	D
	4. 礼儀・礼節と協調性を以て、他人と接することができる。	A						B				D	C	B			A	B	A		E		A	D	A	A	D	D
	5. 相手の意見を傾聴し、適切な言葉を用いて意思を伝達することができる。	A						B				D	C	B			B	B	A		E	D	A	D	A	A	D	D
	6. 適切な表現を用いて、相手や場面に合わせた文章を作成することができる。	A						C				D	C	B			E	B	C		E	D	A	D		A	D	D
Ⅲ．情報・科学技術を活かす能力	1. 人体各器官の正常な構造と機能を説明できる。	E	C		B	C		B	B	D		E	B	B	B	B	D	B	E		E	E	A		A	A	D	D
	2. 全身に及ぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明できる。	E	C		B	B	C	B	B	D		D	B	B	B	B	B	B			B	E	A		A	A	D	D
	3. 病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明できる。	E	C		B	A	C	B	B	C		D	B	B	B	B	B	B			E	E	A		A	A	D	D
	4. 最新の医学・医療情報を適切に収集し、Evidence-based medicine(EBM)として診療に活用できる。	E	D		B	C		C	D			D	B	D	B	C	C	B		D		D	A	D		A	D	D
	5. 人工知能等の新しい技術を導入し医療を実践することができる。	E			B				D	E		D	C			C		C					A			A	D	D
Ⅳ．総合的に患者・生活者をみる姿勢、患者ケアのための診療技能	1. 患者の主要な病歴聴取を適切に実践できる。	E			D	B		C	D			D	C	C	B		A	B	E				A			A	D	D
	2. 成人及び小児の身体診察を適切に実践できる。	E			D	B		C	D			E	C	C	B		B	B	E		D		A			A	D	D
	3. 臨床推論に基づく診断過程を実践できる。	E			D	D		C	D	D		E	B	B	B	C	B	B		D	C		A			A	D	D
	4. 患者の治療計画を策定できる。	E			D	A		C	D	D		D	C	D	B		C	B					A			A	D	D
	5. Problem oriented system(POS)の考え方を理解し、Problem oriented medical record(POMR)に則ったカルテ記載が正確にできる。	E			D	A		C	E			D	B		B		B	B		D			A			A	D	D
	6. 医療安全の考えを理解し、patient saetyを実践できる。	E			D	B		C	E	D		D	B		B		C	B	E	D			A			A	D	D
	7. 誕生から発達・成長・加齢・死までの正常と異常及び心理的背景の推移を説明できる。	E			D			C	D	E		D	D		B		B	B			D		A			A	D	D
	8. 心理社会的背景も踏まえ、患者のウェルビーイング実現に向けて努力できる。	E			D			C	E			E	C		B		B	B	D		D	D	A	D		A	D	D
Ⅴ．社会における医療の役割の理解	1. 保健・医療・福祉の現状と課題を理解できる。	E				B		C				E	C				B	B	B	D	E	D	A	D		A	D	D
	2. 疾病予防と健康増進に取り組むことができる。	E				B		B				E	C				B	B	C	D		D	A	D		A	D	D
	3. 地域医療の現状を把握し、プライマリ・ケアを実践できる。	E					C	D				E	C				D	B	C	D		D	A	D		A	D	D
	4. 災害医療の特殊性について理解し、災害発生時には適切に行動できる。	E					C					E	D				E	C	C	D			A	D		A	D	D
	5. 地域医療の中でのグローバル化を把握し、非日本語母語話者にも対応できる。	E										E	D				E	C	D				A			A	D	D
	6. 保健・医療に関する国際的な課題を理解し説明できる。	E						E				E	D				D	C	E	D		D	A	D		A	D	D
	7. 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を説明できる。	E						E				E	C				E	C	C	D	E		A	D		A	D	D
Ⅵ．科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力	1. 医学的発見の基礎となる科学的理論や考え方を理解できる。	E			D			C	D	E		D	B	D	C	B	C	B					A		A	A		
	2. 医学的な未解決分野の問題点や課題を発見できる。	E			E			C	E			D	C	D	C	B	D	B			E	D	A	D	A	A		
	3. 問題解決のための対策や方法論を提示できる。	E			E			C	E			D	B	D	C	B	C	B	C		E	D	A	D	A	A		